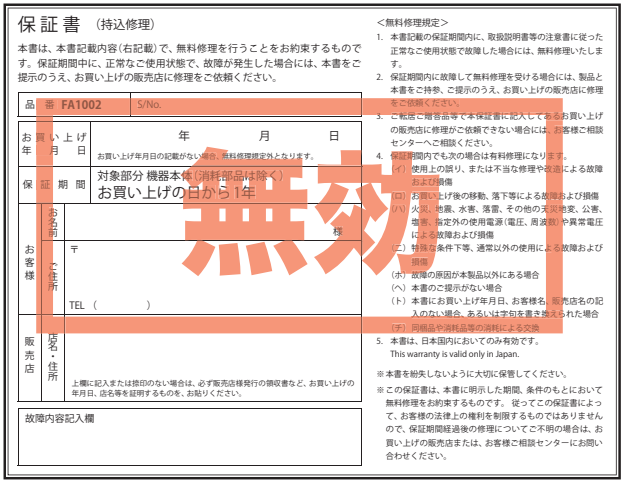


保証書 （持込修理）

本書は、本書記載内容（右記載）で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	FA1002	S/No.
お買い上げ年月日		年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間		対象部分 機器本体（消耗部品は除く） お買い上げの日から1年
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL （ ）
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。
故障内容記入欄		

無効

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷
   （ニ）特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
   （ホ）故障の原因が本製品以外にある場合
   （ヘ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   （チ）消耗品や消耗部品の交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1896-A

監視レコーダー

FA1002

取扱説明書

このたびは、弊社製品の監視レコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、常時録画とトリガに対応したイベント記録を行います。

⚠注 意

電源 ON 時に SD カードの抜き差しを行わないでください。SD カード破損の原因となります。必ず、電源 OFF したことを確認し、SD カード の抜き差しを行ってください。

ご注意

SD カードは、数か月に一度フォーマットが必要です。

SD カードは、データの記録が繰り返されると、録画可能時間が減少したり、データの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。
安定してお使いいただくために、数か月に一度、SD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。

13 ページ 録画について

17 ページ 本機の設置

28 ページ ランプ表示について

34 ページ 専用ソフトの画面説明

55 ページ 設定を変更する

68 ページ 映像記録時間の目安

確認とご注意

安全上のご注意 ……4
使用上のご注意 ……8
各部の名称と働き …… 10
1. 同梱品 ……11
2. 別売品 ……11
3. AV ケーブルを使って モニターを接続する ……11
SD カードの装着 / 取り外し… 12
1. SD カードを本機へ装着する…12
2. SD カードを本機から取り外す…13

基礎知識

録画について …… 14
1. 常時録画 ……14
2. イベント記録 ……15
3. 常時録画+イベント記録 ……16
4. 上書きモード（OFF）について…16

設置と準備

本機の取り付け …… 17
1. 本機を取り付ける……17
2. 電源を接続する……18
3. ヒューズの交換について ……20

専用ソフト

専用ソフトのインストール… 21
1. インストールの準備 ……21
2. インストールする ……23
動作テスト …… 25
1. 専用ソフトでの準備 ……25
2. 本機の準備 ……27
3. テスト記録の確認……29
専用ソフトの使いかた … 32
1. バックアップ（コピー）について…32
2. 録画データの準備……33
3. 画面説明 ……34
4. 表示エリアの操作……35
記録した映像を再生する… 38
1. 録画データを再生する（イベント記録）……38
2. 録画データを再生する（常時録画）……40
レポートを表示する …… 42
1. レポートを表示（印刷）する（イベント記録）…… 42
2. レポートを表示（印刷）する（常時録画）…… 45
記録した映像を印刷する… 48
1. 表示されている映像を印刷する…48
記録した映像を保存する… 50
1. バックアップ ……50
2. 動画変換 ……51
3. 静止画変換 ……53
設定を変更する …… 55
1. 記録設定 ……56
2. システム ……58
3. 日時設定 ……59
4. SD カードフォーマット……59
5. 録画データ削除……61
6. バックアップ ……63
インフォメーション …… 63

その他

故障かな?と思ったら … 64
エラーについて …… 66
仕様 …… 67
映像記録時間の目安 …… 68
1. イベント記録の最大記録件数…68
2. 録画時間の目安 ……69
アフターサービス …… 70
保証書 …… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- 必ず実行していただく「強制」内容です。
- してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ☛ 関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠警 告

異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞
- 内部に異物が入った
- 水に浸かった
- 煙が出ている
- 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
☛P.70「アフターサービス」

作業を始める前に必ず工作機械のメインブレーカーをOFFにしてください。

感電して死亡することや、ショートして機械が破損する恐れがあります。

心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。

本機を次のような場所に保管しないでください。

変色したり、変形したり、故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- 湿気やほこり、油煙の多い所

本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。

爆発や火災の原因となります。

病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⚠本機は精密機械です。

静電気 / 電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

⚠SD カードおよびその他の同梱品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠注 意

結露したまま使い続けないでください。

故障や発熱などの原因となります。（気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。）

濡れた手で操作しないでください。

感電の原因となります。

⃠ 落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

⃠ 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。
故障の原因となります。

⃠ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

● 本機の取り付けについて

⚠ 注 意

❗ 取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。
本機の脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ 突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

● 本機のお手入れについて

⚠ 注 意

⃠ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。

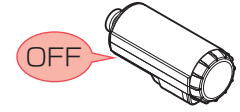
⃠ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。
乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

● SD カードについて

⚠ 警 告

⚠ SD カードの出し入れは、本機の電源 OFF 後、ランプが消灯したことを確認してから行ってください。



⚠ SD カードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。
無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

● その他

⚠ 注 意

⃠ 本機は、日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

使用上のご注意

・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。

■ 録画についての注意

・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
・映像を正常に録画するため、カメラのレンズは常に清潔にしてください。
・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
※長期間使用しなかった場合。
※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ SD カードに関する注意

・SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
・重要な録画データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
・SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
・SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中に SD カードの挿入 / 取り出しを行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
・SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、数ヶ月に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
・SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
・SD カードは必ず同梱品か別売品を使用してください。市販品の SD カードを使用すると、正常に録画できない場合があります。
・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、弊社は一切その責任を負いません。

■ 取り付けに関する注意

・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
・本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

■ 撮影された映像について

・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 使用前の注意

① ☛P.21 を参照し、専用ソフトをパソコンにインストールして起動してください。
② 専用ソフトのファイルメニュー [ツール]→[記録設定] から各種の設定を確認し、[OK] をクリックしてください。

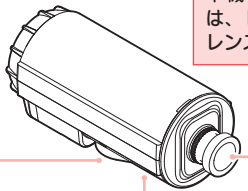
・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。ただし、SD カードなどの消耗品は保証の対象となりません。
・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

・SD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
・SD カードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

各部の名称と働き

■ 本体

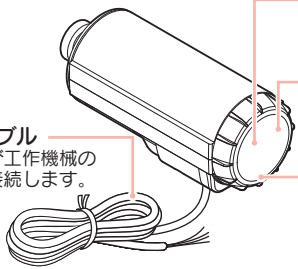
本機を長期間使用しない場合は、レンズキャップを装着し、レンズを保護してください。



取り付けネジ（裏側）
本機を取り付ける際に使用します。(☛P.17)

マイク(裏側)
周囲の音を収集します。

レンズ
※ご購入時にはレンズキャップが装着されています。ご使用時に取り外してください。



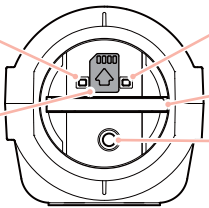
電源ランプ
電源 ON 時は緑色で点灯します。(☛P.28)

録画ランプ
録画時に青色で点灯します。(☛P.28)

電源ケーブル
電源および工作機械の出力線と接続します。(☛P.18)

キャップ
開くと SD カードの挿入 / 取り外しができます。NTSC 端子があります。

キャップを開けたとき



電源ランプ（緑）

録画ランプ（青）

SDカード挿入口

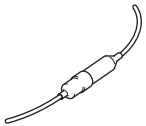
NTSC端子
モニター接続時に使用します。

キャップ内のイラストの向きに合わせて SD カードを挿入してください。(☛P.12)

1. 同梱品

ご使用前に同梱品をお確かめください。

■ ヒューズケーブル …1



■ 専用 8GB SD カード ……1

■ 取扱説明書・保証書(本書) ……1

※ 同梱品・別売品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

2. 別売品

■ 本機専用 32GB SD カード	OP-SD32	／本体 20,000 円+税
■ 本機専用 16GB SD カード	OP-SD16	／本体 10,000 円+税
■ 本機専用 8GB SD カード	OP-SD08	／本体 5,000 円+税
■ AV ケーブル	OP-WA285	／本体 2,000 円+税
■ AC アダプター	OP-E856	／本体 4,500 円+税

※ 同梱品または別売品の SD カード以外は使用しないでください。

3. AV ケーブルを使ってモニターを接続する

本機の NTSC 端子とモニターの Video 入力端子(黄色)を別売品の AV ケーブル (OP-WA285) で接続すると、画像をモニターに映し出すことができます。

- NTSC 出力をするためには、電源を ON する前に AV ケーブル(OP-WA285)を NTSC 端子に接続してください。(端子にプラグが挿さっていることがスイッチになります。)電源を OFF するまで、映像を出力し続けます。
- NTSC 出力中は、SD カードに記録しません。記録する場合は、電源を ON する前に、NTSC 端子から AV ケーブル(OP-WA285)を抜いてください。

SD カードの装着 / 取り外し

⚠ 注 意

- 本機を電源 OFF してから行ってください。
- SD カードは一方向にしか入りません。SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

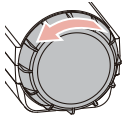
※ 本機と同梱品、弊社別売品以外の SD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

1. SD カードを本機へ装着する

1-1 工作機械の電源を OFF にする

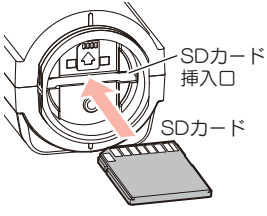
※ 本機の電源は工作機械と連動しています。

1-2 キャップを開ける

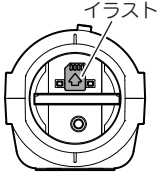


1-3 SD カードを挿入する

SD カード挿入口に「カチッ」と音がするまで押し込みます。

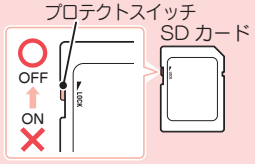


※ イラストの向きに合わせて SD カードを挿入してください。



1-4 キャップを閉じる

プロテクトスイッチとは…
SD カードには、プロテクト（書き込み禁止）機能が付いています。使用時には、プロテクトスイッチを OFF にしてください。

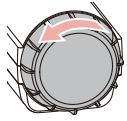


2. SD カードを本機から取り外す

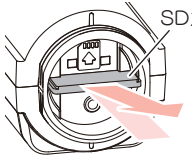
2-1 工作機械の電源を OFF にする

※ 本機の電源は工作機械と連動しています。

2-2 キャップを開ける



2-3 SD カードを押し込みカードが少し飛び出してから引き抜く



※ SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

2-4 キャップを閉じる

録画について

録画方法は、[常時録画]、[イベント記録]、[常時 + イベント] があります。専用ソフトを使って、録画方法を選択することができます。(☛ P.56)

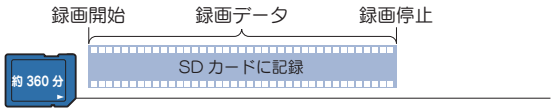
※ 初期値は [イベント記録] に設定されています。

1. 常時録画

本機の電源 ON から電源 OFF までの映像を SD カードに常時録画します。録画したい時間に合わせて、設定を変更してください。(☛ P.55)

※ 録画可能時間については、 ☛ P.69 を参照ください。

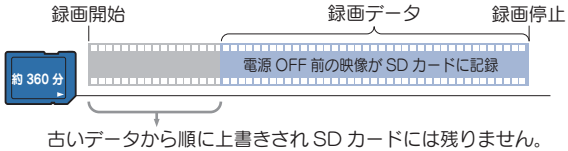
■ 録画開始から録画停止までの時間が短い場合



※ 初期値（10 コマ / 秒、32K）で、同梱品の SD カード (8GB) に、約 360 分の録画が可能です。

■ 録画開始から録画停止までの時間が長い場合（上書きモード ON 時　☛P.58）

※上書きになると録画ランプ(青)が点滅になります。
(☛P.28「ランプ表示」)



2. イベント記録

外部トリガの信号入力があると、1 データ単位の映像を SD カードの専用フォルダにコピーします。

※ 初期値 (30 コマ / 秒、32K)で、同梱品の SD カード (8GB)に、約 270 件の録画が可能です。

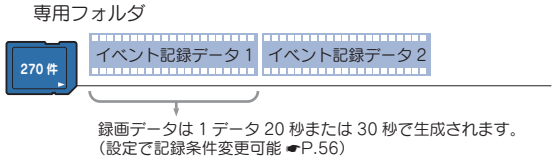
※ 録画可能件数については、 ☛ P.68 を参照ください。

■ 外部トリガ設定

※ 初期値は [マルチトリガ] に設定されています。

●マルチトリガ

トリガが発生すると、専用フォルダにイベント記録を生成します。



※ 上書きモード ON 時 (☛ P.58)は、SD カードがいっぱいになると古い録画データから順に上書きされます。

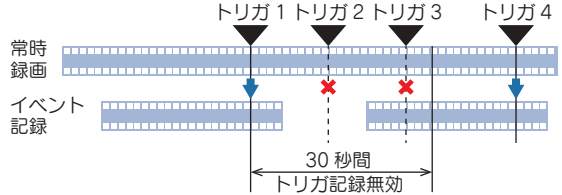
※ 上書きになると録画ランプ (青)の点滅が変化します。
(☛ P.28「ランプ表示」)

●シングルトリガ

トリガ発生後 30 秒間に発生したトリガはすべて無効になります。

※ 常時録画のタイムラインにトリガのマーカーも残しません。

※ 下図のトリガ 2 およびトリガ 3 のすべての情報は無効になります。



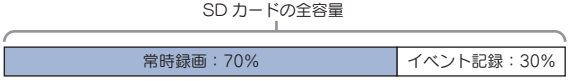
3. 常時録画+イベント記録

常時録画とイベント記録の両方を行います。この録画方法では、常時録画とイベント記録の SD カードに保存できる割合が決められています。

割合の上限を超える場合の動作は、上書きモードで選択できます。(☛ P.58「上書きモード」)

※ 初期値は、「常時録画(上書きモード):ON」、「イベント記録(上書きモード):ON」です。

■ 録画データの容量割合の目安



※ 割合の値は上記値で固定のため、変更することはできません。

4. 上書きモード(OFF)について

上書きモードを OFF にすると、各記録方法でデータ容量の割合が上限に達した場合、録画ランプ(青)が消灯し、各記録方法での録画を停止します。

(☛ P.28「ランプ表示」)

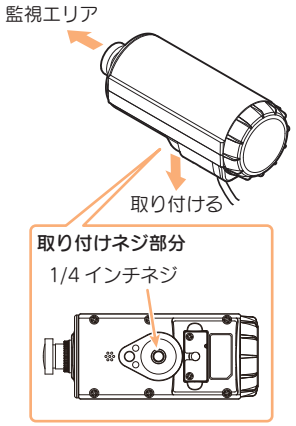
本機の取り付け

取付時の注意

本機を取り付けの際は、取り付けネジ部分が下側になるように取り付けてください。
取り付けネジ部分が横向きや上向きの状態で取り付けると、記録した映像を専用ソフトで再生する際に、画面が横向きや逆さまの向きで再生されます。

1. 本機を取り付ける

1-1 本機底部のネジを利用し取り付ける



※ レンズが監視エリアを向くように取り付けてください。
※ カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

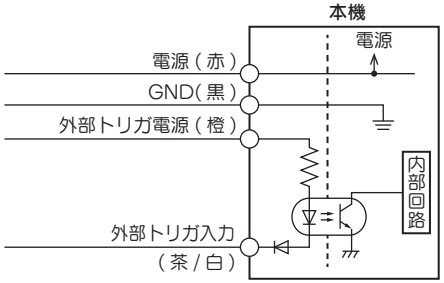
2. 電源を接続する

⚠ 警 告

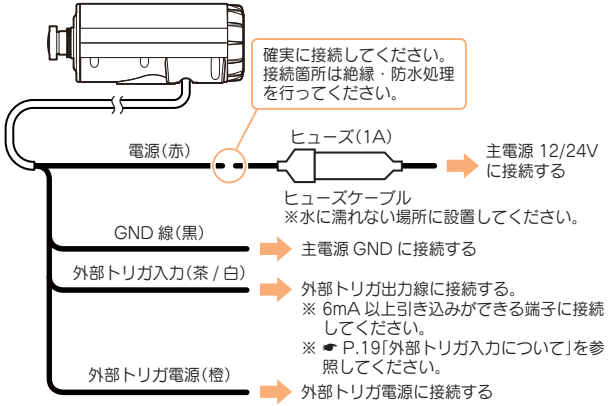
- 作業を始める前に必ず工作機械のメインブレーカーを OFF にしてください。感電して死亡することやショートして機械が破損する恐れがあります。

・ケーブルが長い場合は、切断して調整してください。（☛ P.19）
・下図のようにそれぞれ正しく接続してください。
・工作機械の振動などで配線が外れないようにしっかりと接続してください。

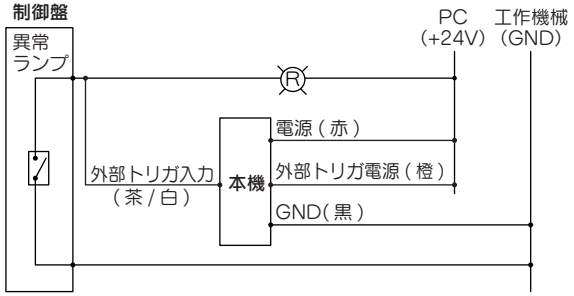
■ 本体内部回路図



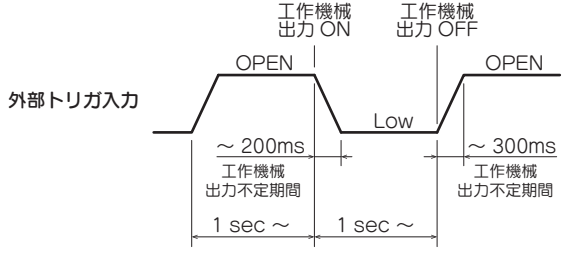
■ ケーブル構成



■ 接続イメージ例

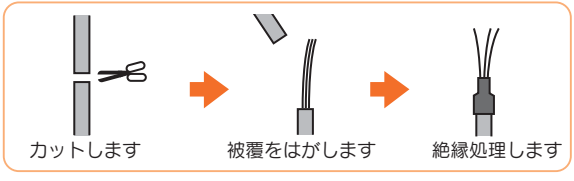


■ 外部トリガ入力について



■ ケーブルの切断

本機のケーブルが長い場合は、切断することができます。



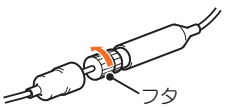
3. ヒューズの交換について

本機の電源 ON しても、電源が入らない場合は、ヒューズケーブルのヒューズ（1A）が切れている可能性があります。

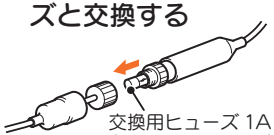
・接続コード類が外れていないかを確認してください。
・下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
・ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

3-1 ヒューズケーブルのカバーを外す

3-2 フタを左に回し開ける



3-3 ヒューズを取り出し、新しいヒューズと交換する



※ 交換時にヒューズを落下させないようにしてください。

専用ソフトのインストール

本機で記録した映像は、専用ソフトを使い、パソコンで見ることができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS：Microsoft Windows XP または 7
CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ：2GB 以上

■ 画像処理機能を動作させる場合

OS：Microsoft Windows XP または 7
CPU: Core i5 相当、3.0GHz 以上
メモリ：8GB 以上

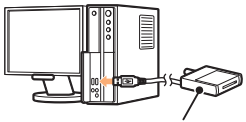
※ 誤って専用ソフトを削除した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※ 再生するファイルの種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
※ 専用ソフトの画面サイズは 1024 × 768 ピクセル固定です。

1. インストールの準備

⚠注 意

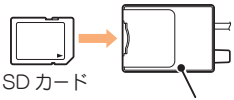
・パソコンや SD カードリーダーライターから SD カードを取り外す際は、お使いのパソコンやカードリーダーライターに同梱品の取扱説明書に沿って取り外してください。誤った手順で取り外すと、保存したデータが失われたり、SD カードを破損させてしまう恐れがあります。

1-1 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する



SD カードリーダーライター

1-2 同梱品の SD カードを SD カードリーダーライターに接続する

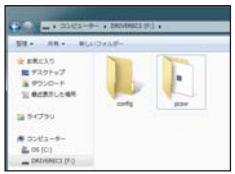


SD カード

SD カードリーダーライター

※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のデータが破損することがあります。

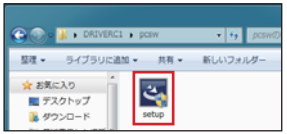
1-3 [DRIVEREC1] と表示されているドライブを展開し、「pcsw」フォルダをダブルクリックする



※ ドライブの展開は、エクスプローラーなどを起動して行ってください。

2. インストールする

2-1 [setup.exe] をダブルクリックする



※ パソコンが「拡張子を表示しない」に設定されている場合、setup と表示されます。

2-2 セットアップウィザードの開始

[次へ] をクリックします。

2-3 使用許諾契約書に同意する

[使用許諾契約の条項に同意します] にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

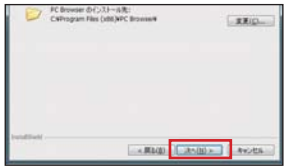
※ チェックを入れていない状態では、[次へ] をクリックすることはできません。

2-4 ユーザー情報を入力する

任意でユーザー情報を入力し、[次へ] をクリックします。

2-5 インストール先の指定

インストール先を指定し、[次へ] をクリックします。



※ インストール先を変更しない場合は、そのまま [次へ] をクリックしてください。
※ [変更] をクリックすると、インストール先のフォルダ画面が表示されますので、インストール先を指定してください。

2-6 インストールの準備完了

[インストール] をクリックします。

<インストール中の画面>

2-7 インストールの完了

[完了] をクリックします。

専用ソフトのバックアップについて

パソコンにソフトがインストールされていれば、専用ソフトでフォーマットすることにより、SD カード内にプログラムを生成することが可能です。(☛P.59「SD カードフォーマット」)
また弊社ホームページ内でダウンロードすることも可能です。
弊社ホームページ　http://www.yupiteru.co.jp/

動作テスト

本機は SD カードの設定を読み込み、動作します。ご使用になる前に、必ず下記の手順で動作テストを行ってください。テストを行わない場合、正常に動作しないことがあります。

1. 専用ソフトでの準備

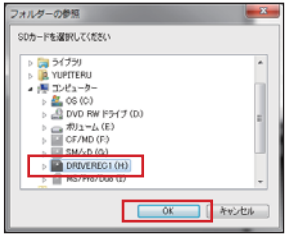
1-1 デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする

1-2 ファイルメニューの [ツール] →[機種選択] から [FA1002] を選択する

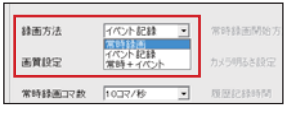
※ 間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

1-3 ファイルメニューの［ツール］→［記録設定］を選択する

1-4 ［DRIVEREC1］を選択し、［OK］をクリックする



1-5 録画方法で［常時録画］を選択する



1-6 日時設定の［設定する］に ☑ を入れ、日時を設定する

※ 日時設定は現時刻ではなく、次に本体を電源 ON する日付や時刻を設定してください。

1-7 ［SD カードへ保存］をクリックする

1-8 パソコンから SD カードを取り出す

2. 本機の準備

2-1 設定済みの SD カードを挿入する

・SD カードを挿入するときは…
☛ P.12「SD カードの装着 / 取り外し」

2-2 工作機械の電源を ON にする

本機に電源が供給されると電源ランプ（緑）と録画ランプ（青）が両方点灯し、録画が開始されます。

※ 録画ランプが点灯しない場合は、SD カードの挿入を確認してください。

■ ランプ表示

電源ランプ	録画ランプ
●動作中 緑点灯	●常時録画中 青点灯
	●常時録画中（上書き） 青 消灯 青 消灯
	●イベント記録中 青 消 青 消 青 消 青 消 青 消 青 消
	●イベント記録中（上書き） 青 消 青 消 青 消灯 青 消 青 消
●非動作中 消灯	●録画停止中 消灯

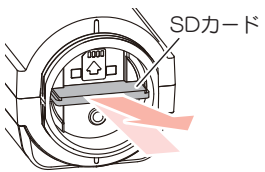
準備が終了したら…

本機の準備が終了したら、テストとして映像を記録します。

2-3 工作機械の電源をOFFにする

※ 電源を OFF にしても、しばらくは SD カードにデータの書き込みが行われている場合があります。SD カードの抜き差しは、電源ランプおよび録画ランプの消灯を確認してから行ってください。

2-4 本機から SD カードを取り出す



・SD カードを挿入するときは…

☛ P.12「SD カードの装着 / 取り外し」

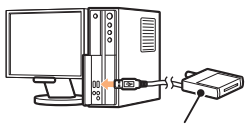
テスト画像を記録したら…

専用ソフトがインストールされているパソコンで映像の確認を行います。

3. テスト記録の確認

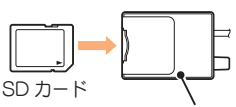
※ 本ソフトは、本機専用ソフトです。本機以外の機種で記録した映像は読み込むことができません。

3-1 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する



SD カードリーダーライター

3-2 同梱品の SD カードを SD カードリーダーライターに接続する



SD カード

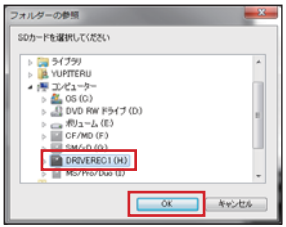
SD カードリーダーライター

※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のデータが破損することがあります。

3-3 デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする

3-4 (フォルダ) をクリックする

3-5 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



※ [ファイル]をクリックし[データフォルダを指定]から、[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

3-6 テスト記録した録画データ名に ☑ を入れる

※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

3-7 [読み込み] をクリックする

テスト記録を確認したら…

テスト記録に問題が無ければ、[記録設定]（☛ P.56）をお好みの設定に変更して、SD カードを本機に戻してご使用を開始してください。

問題がある場合は、取り付けや設定を確認して再度動作テストを実行してください。

SD カードは数ヵ月に一度フォーマットが必要です。

SD カードは、データの記録が繰り返されると、録画可能時間が減少したり、データの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。安定してお使いいただくために、数カ月に一度、SD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。（☛ P.59「SD カードフォーマット」）

専用ソフトの使いかた

1. バックアップ(コピー)について

専用ソフトは同梱品の SD カード内に収納されています。誤って削除しないためにもパソコンなどにバックアップ(コピー)することをお勧めします。

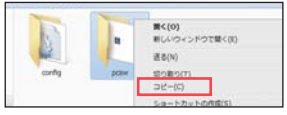
専用ソフトは随時更新されます。最新版の専用ソフトは当社ホームページにてご確認ください。
http://www.yupiteru.co.jp/

例：デスクトップにバックアップ(コピー)する場合

1-1 [DRIVEREC1] と表示されているドライブを展開する

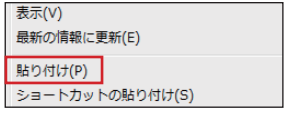
※ ドライブの展開は、エクスプローラーなどを起動して行ってください。

1-2 [pcsw] フォルダ上で右クリックし、[コピー] を選択する



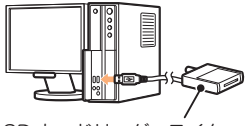
1-3 デスクトップ上で右クリックし、[貼り付け] を選択する

デスクトップに [pcsw] フォルダがコピーされます。



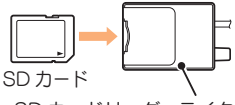
2. 録画データの準備

2-1 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する



SD カードリーダーライター

2-2 同梱品の SD カードを SD カードリーダーライターに接続する



SD カード

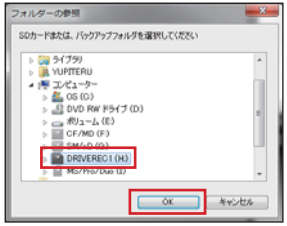
SD カードリーダーライター

※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のデータが破損することがあります。

2-3 デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする

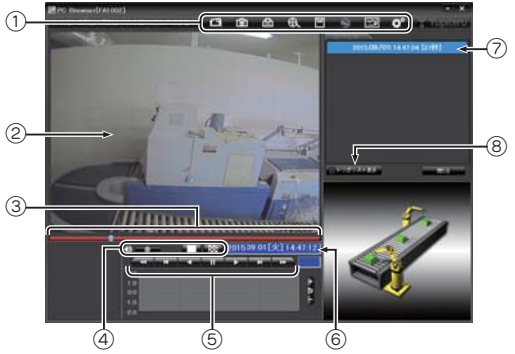
2-4 （フォルダ）をクリックする

2-5 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



※［ファイル］をクリックし［データフォルダを指定］から、［DRIVEREC1］を選択しても同じ画面表示になります。

3. 画面説明



No.	表示名	表示の意味
①	メニューバー	フォルダを指定します。
		静止画に変換します。
		印刷をします。
		動画に変換します。
		データのバックアップをします。
		使用しません。
		レポートを表示します。
		記録設定の変更をします。
②	表示エリア	選択したファイルの映像を表示します。
③	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。
④	音量 / 表示切替ボタン	音量を調節します。/ 1 画面表示、16 分割表示に切り替えます。
⑤	再生ボタン	再生や早送りなどの操作を行います。
⑥	日付 時刻	映像を記録した日付と時刻を表示します。
⑦	プレイリスト一覧	選択されているファイルを表示します。
⑧	トリガリスト表示ボタン	トリガリストを表示します。

4. 表示エリアの操作

表示エリアでは下記の操作が行えます。

■ 画像表示エリアメニュー

マウスの右クリックで［画面表示エリアのメニュー］を表示します。

・**画像状態**
画像の回転角度を表示します。

・**標準に戻す**
拡大した画像や反転した画像を初期表示に戻します。

※ 画面が初期表示状態の場合、［標準に戻す］は使用できません。

・**画面操作**

画像の範囲拡大、移動、回転の操作ができます。

〈範囲拡大〉

範囲拡大に ☑ を入れ、範囲を指定することで、拡大表示します。
マウスの左ボタンで拡大したい部分をドラッグします。

点線部分が範囲選択部分です。

マウスポインター

〈移動〉

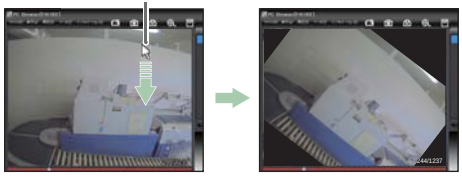
移動に ☑ を入れ、拡大表示した画像の表示位置を移動します。
マウスの左ボタンでドラッグし、表示させたい部分まで移動します。

マウスポインター

〈回転〉

回転に ☑ を入れ、画像を回転します。
マウスの左ボタンでドラッグし、回転します。

マウスポインター



表示を元に戻す場合は、右クリックで「画像表示エリアメニュー」を表示させ、[標準に戻す] を選択します。

・**反転**

[左右反転] をクリックすると、画像を左右に反転します。
[上下反転] をクリックすると、画像を上下に反転します。

左右反転

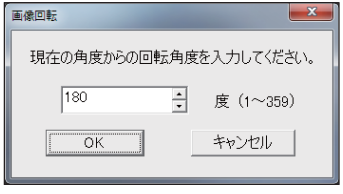
上下反転

・**拡大・縮小**

[拡大] をクリックすると、表示画像の中央を基準に画像を 200%拡大します。
[縮小] をクリックすると、表示画面の中央を基準に画像を 50% 縮小します。

・**回転(角度指定)**

[時計回り] をクリックし、角度を入力すると画像が時計回りに回転します。
[反時計回り] をクリックし、角度を入力すると画像が反時計回りに回転します。



記録した映像を再生する

1. 録画データを再生する(イベント記録)

1-1 イベント記録をクリックする

1-2 再生したい録画データ名に ☑ を入れる

※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

1-3 [読み込み]をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。

※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※ [ファイル]をクリックし[読み込み]から[イベント]をクリックしても同じ画面表示になります。

※ 一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-4 再生する

▶ ボタンをクリックすると、記録するきっかけとなった時点から再生します。

専用ソフト

■ 映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。

・[再生] をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止] をクリックすると、クリックした動作を行います。

・記録するきっかけとなる前の映像を確認する場合は、[逆再生]や[早戻し]のボタンをクリックしてください。

■ ◀ ▶ や ◀◀ ▶▶ ボタンを複数回クリックすることで、再生スピードを変更できます。

・◀ ▶ を 1 回クリックすると 1 倍速（通常速度）、2 回クリックすると 0.5 倍速（スロー）で [再生] または [逆再生] できます。

・◀◀ ▶▶ を 1 回クリックすると 2 倍速、2 回クリックすると 4 倍速、3 回クリックすると 8 倍速、4 回クリックすると 16 倍速で [早送り] または [早戻し] できます。

■ ▭ ボタンをクリックすると [1 画面表示]、▦ ボタンをクリックすると [16 分割表示] を表示します。

・[表示] → [画面表示] から [1 画面表示] [16 分割表示] をクリックしても同様の動作となります。

＜ 1 画面表示＞

＜ 16 分割表示＞

イベント記録のデータ名について

トリガを検知した日付、時間がデータ名となります。

2015/09/01 19:21:12 [外部トリガ1(,など)]

年 月 日 時 分 秒 トリガ種別

専用ソフト

2. 録画データを再生する（常時録画）

2-1 常時録画をクリックする

2-2 再生したい録画データ名に ☑ を入れる

※ 複数のデータを選択できます。

※［すべてを選択］をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

2-3 ［読み込み］をクリックする

※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※［ファイル］をクリックし［読み込み］から［常時録画］をクリックしても同じ画面表示になります。

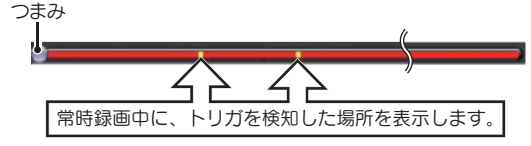
2-4 再生する

▶ ボタンをクリックすると、再生します。

■ 画像表示について

No.	表示名	表示の意味
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表します。
②	トリガリスト表示ボタン	常時録画中のイベント（トリガ入力）位置を表示します。

■ つまみをスライドさせ ▶ ボタンをクリックすると、その場所から再生できます。



■ トリガリスト表示 ボタンをクリックするとイベントのリスト表示に切り替えることができます。

※ トリガ入力が複数回の場合は、［, など］が表示されます。

リストの項目をクリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。

常時録画のデータ名について

日付、時間、期間がデータ名となります。

2015/09/01 19:21:12［5分］
年 月 日 時 分 秒 期間（記録時間）

専用ソフト

レポートを表示する

レポートを作成し表示することができ、またレポートを印刷することもできます。

※ 一度に複数のレポートは表示できません。

1. レポートを表示(印刷)する(イベント記録)

1-1 イベント記録をクリックする

1-2 再生したい録画データ名に ☑ を入れる

※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

1-3 [読み込み]をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。

※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

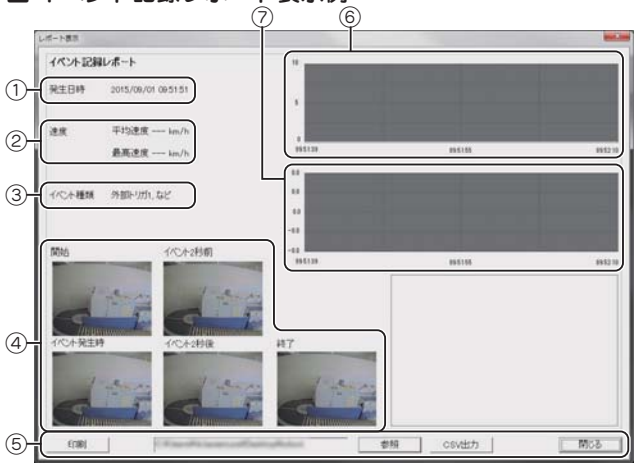
※ [ファイル]をクリックし[読み込み]から[イベント]をクリックしても同じ画面表示になります。

※ 一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-4 表示したい録画データを選択し、(レポート表示)をクリックする

イベント記録レポートが表示されます。

■ イベント記録レポート表示例



No.	表示名	表示の意味
①	**発生日時**	イベント発生日時を表示します。
②	**速度**	平均速度、最高速度を表示します。 ※ 本機は、「---」と固定表示します。
③	**イベント種類**	イベントの種類を表示します。
④	**画像**	録画データの開始 / 終了時、イベント発生時とその前後 2 秒の画像を表示します。

No.	表示名		表示の意味
⑤	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSV データの出力先を設定します。
		CSV 出力	CSV データを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑥	速度グラフ		速度グラフを表示します。 (縦軸は速度、横軸は時間を示します。) ※ 本機は、表示しません。
⑦	加速度グラフ		加速度グラフを表示します。 (縦軸は加速度、横軸は時間を示します。) ※ 本機は、表示しません。

1-5 印刷する場合は、[印刷] ボタンをクリックする

プレビュー画面が表示されます。

■ 印刷プレビュー表示例

No.	表示名		表示の意味
①	ボタン	印刷	印刷します。
		プリンタ設定	プリンタを設定します。
		備考記入	備考欄に記入できます。
		閉じる	印刷プレビューを閉じます。

2. レポートを表示(印刷)する(常時録画)

2-1 常時録画をクリックする

2-2 表示したい録画データ名に ☑ を入れる

※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

2-3 [読み込み] をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。

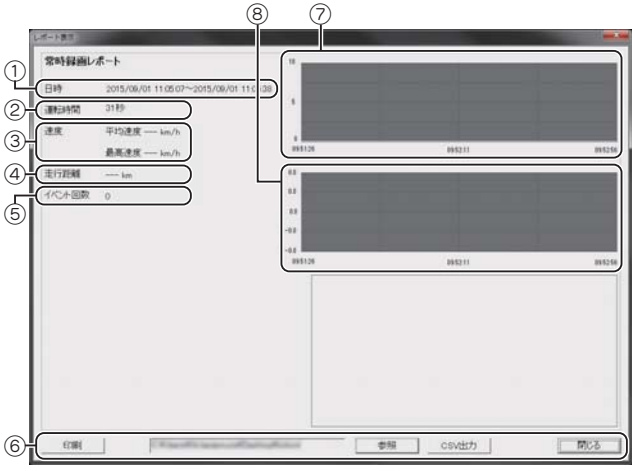
※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※ [ファイル] をクリックし [読み込み] から [常時録画] をクリックしても同じ画面表示になります。

2-4 表示したい録画データを選択し、（レポート表示）をクリックする

常時録画レポートが表示されます。

■ 常時録画レポート表示例



No.	表示名	表示の意味
①	**日時**	録画データの日時を表示します。
②	**運転時間**	運転時間を表示します。
③	**速度**	平均速度、最高速度を表示します。 ※ 本機は、「---」と固定表示します。
④	**走行距離**	走行距離を表示します。 ※ 本機は、「---」と固定表示します。
⑤	**イベント回数**	イベント回数を表示します。

No.	表示名		表示の意味
⑥	**ボタン**	**印刷**	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSV データの出力先を設定します。
		CSV 出力	CSV データを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑦	**速度グラフ**		速度グラフを表示します。 （縦軸は速度、横軸は時間を示します。） ※ 本機は、表示しません。
⑧	**加速度グラフ**		加速度グラフを表示します。 （縦軸は加速度、横軸は時間を示します。） ※ 本機は、表示しません。

2-5 印刷する場合は、［印刷］ボタンをクリックする

プレビュー画面が表示されます。

■ 印刷プレビュー表示例

No.	表示名		表示の意味
①	**ボタン**	**印刷**	印刷します。
		プリンタ設定	プリンタを設定します。
		備考記入	備考欄に記入できます。
		閉じる	プレビュー画面を閉じます。

記録した映像を印刷する

1. 表示されている映像を印刷する

表示されている映像を印刷することができます。

1-1 データ名の一覧より、印刷したい録画データ名に ☑ を入れ、[読み込み] をクリックする

1-2 🖶 (印刷) をクリックする

※ [ファイル]をクリックし、[印刷]をクリックしても同じ画面表示になります。

1-3 [表示中の静止画すべて] または [コマ数指定] を選択する

- **表示中の静止画すべて**
  表示エリアの映像を印刷します。16 分割で表示されているときは、表示されている 16 枚の印刷を行います。
- **コマ数指定**
  表示エリアの映像から範囲指定した時間分を、コマ数指定した数で分割して印刷します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の常時録画コマ数、イベント記録コマ数 (☛ P.57)が反映されます。

※ 印刷枚数は秒×コマ数になります。

1-4 [確認] をクリックする

印刷プレビューが表示されます。

- **[印刷]**
  印刷枚数を選択します。[OK] をクリックすると印刷を行います。
- **[プリンタ設定]**
  印刷するプリンタの設定を行います。
- **[1 コマ表示]**
  1 枚に 1 コマの映像データを表示します。
- **[4 コマ表示]**
  1 枚に 4 コマの映像データを表示します。

1-5 終了するときは [閉じる] をクリックする

記録した映像を保存する

SD カード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

1. バックアップ

SD カードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップできます。

※ バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除（☛ P.61）を行ってください。

1-1 データ名の一覧より、保存したい録画データ名に☑を入れ、[読み込み] をクリックする

1-2 （バックアップ）をクリックする

※ [ツール]をクリックし[バックアップ]をクリックしても同じ画面表示になります。

※ [全てバックアップ] に☑ を入れると SD カードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。

1-3 バックアップ形式、字幕、保存先を指定し、[スタート] をクリックする

バックアップ用に作成したフォルダを指定します。

※ 字幕が不要な場合は、チェックを入れないでください。

1-4 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

終了するときは、[OK] をクリックします。

※ PC Browser タイプで保存した場合フォルダ内に「バックアップ年月日_バックアップ時刻」のフォルダが作成され、その中に「データ年月日_データ時刻 .bak」ファイルが作成されます。

2. 動画変換

記録されたデータを AVI 形式の動画に変換して保存できます。

動画変換した映像をみる

動画変換して保存したファイルは Microsoft Media Player Ver12.0 以上で再生できます。

2-1 データ名の一覧より、動画変換したい録画データ名に☑を入れ、[読み込み] をクリックする

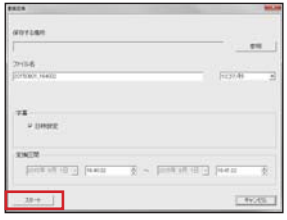
専用ソフト

2-2 （動画変換）をクリックする

※［ツール］をクリックし、［動画変換］をクリックしても同じ画面表示になります。

2-3 保存する場所やファイル名、コマ数、字幕、範囲の項目を指定し、［スタート］をクリックする

［日時設定］の項目に☑を入れると、日時を動画上に表示します。



2-4 「完了しました」と表示されたら、［OK］をクリックする

PC Browser の画面に戻ります。指定した保存先に＊.avi ファイルが保存されます。

※＊部には、映像を記録した日時か、指定した名称が入ります。

専用ソフト

3. 静止画変換

表示エリアに表示されている映像を JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、［表示中の静止画すべて］または［コマ数指定］を選択します。

静止画変換した映像をみる
静止画変換し JPEG 形式で保存した画像は Windows の標準ソフトで見ることができます。

3-1 データ名の一覧より、静止画変換したい録画データ名に☑を入れ、［読み込み］をクリックする

3-2 （静止画変換）をクリックする

※［ツール］をクリックし、［静止画変換］をクリックしても同じ画面表示になります。

3-3 ［表示中の静止画すべて］、または［コマ数指定］を選択し、お好みの保存先を指定し、［スタート］をクリックする

・**表示中の静止画すべて**
1 画面表示で静止画変換を行った場合は 1 枚、16 分割表示から静止画変換を行った場合は、表示されている 16 画面の映像すべてを静止画に変換できます。

・**コマ数指定（選択した静止画から）**
表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

専用ソフト

＜秒間＞
範囲指定された、表示エリアの映像の長さ（秒）を表示しています。

＜コマ / 秒＞
1 秒間を何コマで分割するかを設定します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の常時録画コマ数、イベント記録コマ数（☛ P.57）が反映されます。

※ 静止画枚数は秒×コマ数になります。

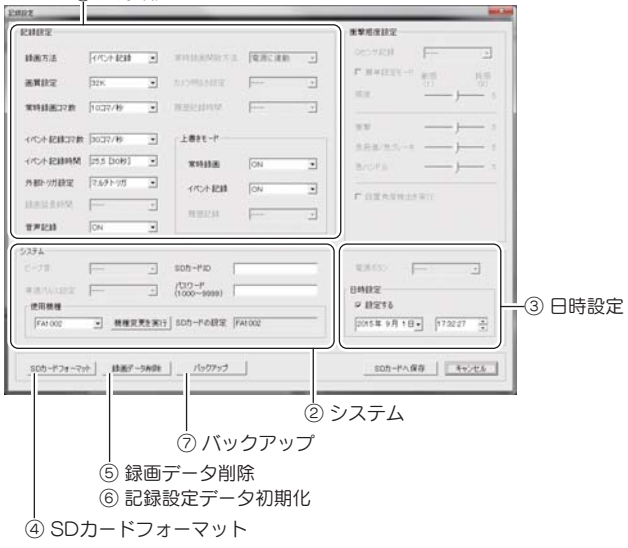
3-4 「完了しました」と表示されたら、［OK］をクリックする

PC Browser の画面に戻ります。

設定を変更する

設定を変更する前に、「使用機種（☛ P.58）」の「SD カードの設定」が「FA1002」になっているかを確認してください。

※ 間違った機種選択をした場合、本機は正常に動作しません。



設定変更を行う場合は必ず SD カードを SD カードリーダーライターに接続してご使用ください。設定内容は SD カードに保存されます。
SD カードを本機に戻し、本機の電源が ON すると設定内容が読み込まれ本機に反映されます。

1. 記録設定

（記録設定）をクリックすると、各種の設定変更やSD カードの初期化や録画データのバックアップ、SD カードからの録画データの削除を行うことができます。

※［ツール］をクリックし［記録設定］をクリックしても同じ画面表示になります。

■ 録画方法

録画する方法を［ 常時録画 ］［ イベント記録 ］［ 常時 + イベント ］から選択できます。

※ 初期値は［ イベント記録 ］に設定されています。

常時録画	電源 ON から電源 OFF までの映像をＳＤカードに記録します。初期値（10 コマ / 秒、32K）で、同梱品のＳＤカード（8 ＧＢ）に約 360 分の常時録画が可能です。 ※［ 常時録画 ］に設定した場合、イベント記録の映像は記録されません。ただし、トリガ検出されたことは、常時録画の録画データ内に記録されます。
イベント記録	トリガを検知した場合に映像を記録します。
常時＋イベント	常時録画を行いながらトリガを検知した場合、映像を別のデータで記録します。

録画方法変更時の注意

すでに SD カードに記録した録画データがあり、現在の設定から別の録画方法へ変更する場合（［常時録画］から［イベント記録］への変更など）は、SD カードに記録されている録画データを削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。

設定を変更する場合は、SD カードに記録している録画データをパソコンなどにバックアップしてください。（☛ P.50）

削除した録画データは、元に戻せませんのでご注意ください。

■ 画質設定

記録する映像の画質を選択できます。

※ 初期値は［32K］に設定されています。

画質	64K(640 × 480)、32K(640 × 480)、16K(320 × 240)

■ 常時録画コマ数

常時録画のコマ数を選択できます。

※ 初期値は［10 コマ / 秒 ］に設定されています。

常時録画コマ数	30,15,10,5,1 コマ / 秒、2,1 コマ / 分、12,6 コマ / 時

■ イベント記録コマ数

イベント記録のコマ数を選択できます。

※ 初期値は［30 コマ / 秒 ］に設定されています。

イベント記録コマ数	30,15,10,5,1 コマ / 秒

■ イベント記録時間

イベント記録時間を設定します。

イベント前の時間（秒）とイベント後の時間（秒）の組み合わせを選択できます。

※ 初期値は［ 25,5 ［30 秒 ］］に設定されています。

イベント記録時間	30 秒※1（18,12）（20,10）（25,5）、20 秒（10,10）（12,8）（15,5）※1

※ 1：イベント記録時間の 30 秒および 20 秒（15,5）を選択した場合は、画質［64K］を選択できません。

■ 外部トリガ設定

外部トリガ入力を［マルチトリガ］［シングルトリガ］から選択できます。

※ 初期値は［ マルチトリガ ］に設定されています。

専用ソフト

■ 音声記録

音声も記録する場合に [ON] にします。

※ 初期値は [ON] に設定されています。

■ 上書きモード

SD カードの空き容量が不足したときの保存方法を常時録画、イベント記録のそれぞれで選択できます。
[ON] または [OFF] から選択します。

※ 初期値はすべての録画方法で [ON] に設定されています。

ON	ＳＤカードの容量がいっぱいになると古いデータから順に書き換わります。
OFF	容量がいっぱいになると映像は保存されません。

2. システム

■ SD カード ID

SD カード ID を設定できます。SD カード ID と本機 ID をログに書き込むことで SD カードと本機の管理に役立てることができます。

※ ID 入力には、半角 24 文字以下の制限があります。

※ 本機 ID は、変更できません。

■ パスワード

設定を変更できないように、パスワードを設定できます。
（1000 ～ 9999 の 4 桁）

■ 使用機種

使用する機種を選択できます。

※ 操作手順は、 ☛ P.25「手順 1-2」を参照してください。

3. 日時設定

■ 設定する

□に ✔ を入れ、日付や時刻を設定できます。

※ 本機の電源 ON すると SD カードから読み込み、日時を修正します。
現在時刻ではなく、次に本体を電源 ON する日付や時刻を想定して設定してください。また、時刻がずれる場合がありますので定期的に行ってください。

4. SD カードフォーマット

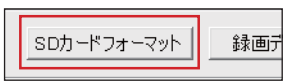
一度 SD カード内のデータをすべて消去し、必要なデータを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SD カードからの読み込みが遅くなった場合に初期化を行ってください。

※ パソコンによる SD カードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

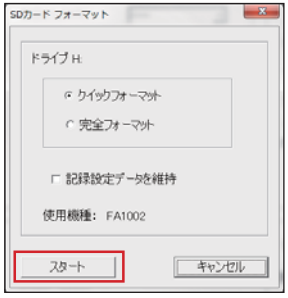
※ 必ず SDHC 規格に対応した SD カードリーダーライターや SDHC 規格に対応したカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。SDHC 規格に対応していない場合、SD カードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

4-1 [SD カードフォーマット] をクリックする

※ [ツール] をクリックし、[SD カードフォーマット] をクリックしても同じ画面表示になります。



4-2 フォーマットの設定をし、[スタート]をクリックする

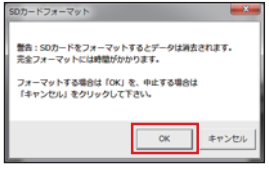


・**クイックフォーマット**
短時間でフォーマットを行います。

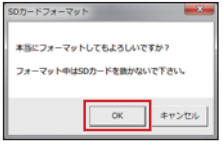
・**完全フォーマット**
完全にフォーマットを行います。
※ クイックフォーマットよりも時間がかかります。

・**☑ 記録設定データを維持**
SDカードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。
☑ を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録されたデータは削除されます。

4-3 [OK]をクリックする



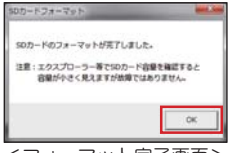
上の確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。
※ 中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。



さらに左の確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。
※ 中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。

4-4 フォーマット完了画面の[OK]をクリックする

フォーマットが完了します。



<フォーマット完了画面>

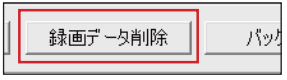
5. 録画データ削除

録画データ削除をクリックすると［録画データ削除］と［記録設定データ初期化］が選択画面に表示されます。

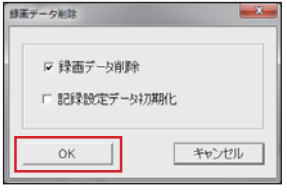
・SDカード内に記録されたデータを削除します。
・いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。（☛ P.50）

■ 録画データ削除

5-1 [録画データ削除]をクリックする

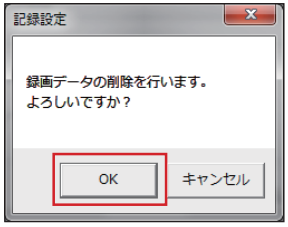


5-2 [録画データ削除]に ☑ を入れ[OK]をクリックする



5-3 [OK] をクリックする

「録画データの削除が完了しました。」と表示されます。



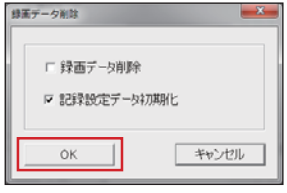
5-4 [OK] をクリックする

記録設定画面に戻ります。

■ 記録設定データ初期化

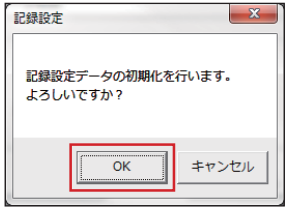
記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

5-1 [記録設定データ初期化] に ☑ を入れ [OK] をクリックする



5-2 [OK] をクリックする

「記録設定データの初期化が完了しました。」と表示されます。



5-3 [OK] をクリックする

記録設定画面に戻ります。

6. バックアップ

SD カードに記録されてるデータをパソコンなどにバックアップできます。

※ 操作手順は、☛ P.50 を参照してください。

インフォメーション

■ バージョン情報

ソフトウェアのバージョンなどを表示します。

■ ホームページ

クリックするとユピテルホームページを開くことができます。

※ 画面右上の Yupiteru をクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源が入らない

☐ **電源ケーブルが外れていないか確認してください。**

☐ **ヒューズケーブルのヒューズが切れていないか確認してください。**

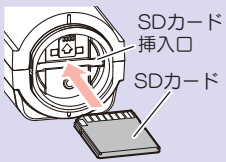
切れている場合は、同じ容量（1A）の新しいヒューズと交換してください。（☛P.20）

交換用ヒューズ 1A
（30mm × 6.5mm）

映像が記録できない

☐ **同梱品の SD カードが正しく挿入されていますか。**

同梱品の SD カードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。電源を OFF し、SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。（☛P.12）



☐ **記録設定の上書きモードが OFF になっていませんか。**

上書きモードが OFF の場合、上書きができません。
SD カードを取り出し、専用ソフト上で設定を変更してください。（☛P.58）

☐ **SD カードをフォーマットして確認してください。**

必要に応じてバックアップを行ってから専用ソフトでフォーマットしてください。（☛P.59）

☐ **SD カードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。**

同梱品、または別売品の SD カード以外は使用しないでください。
製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

記録した映像が映らない

☐ **専用ソフトがインストールされていますか。**

同梱品の SD カード内に収納されている専用ソフトをインストールしてください。（☛P.21）

記録した音声が小さい

☐ **マイクを塞いでいませんか。**

塞いでいるものをなくしてください。

録画データの日付や時刻がずれる

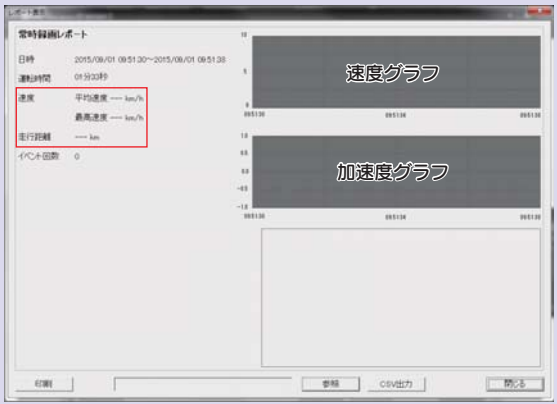
☐ **専用ソフト上で「日時設定」を行ってください。（☛P.59）**

レポート表示の速度、加速度、距離に関する表示がない

本機は、GPS および加速度センサーを搭載していません。以下の内容は、表示しません。

- 速度に関する表示（平均速度、最高速度、速度グラフ）
- 加速度に関する表示（加速度グラフ）
- 距離に関する表示（走行距離）

例）常時録画レポート



エラーについて

■ エラーの種類と対策

ランプの状態	エラーの原因と対策
電源ランプ（緑）のみが点灯	同梱品の SD カードが正しく挿入されていないときなどは、正常に起動できません。本機の電源を OFF にして、SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。
電源ランプ（緑）と録画ランプ（青）が２回ずつ交互に点滅し、電源ランプ（緑）のみが点灯	SD カードの異常が考えられます。SD カードをフォーマットしてください。（☛ P.59「SD カードフォーマット」）または、新しい SD カードをお求めください。 ※ 同梱品、または別売品の SD カード以外は使用しないでください。
電源ランプ（緑）と録画ランプ（青）が交互に点滅し、電源ランプ（緑）のみが点灯	同梱品の SD カードのプロテクトスイッチが ON（書込み禁止）になっています。本機の電源を OFF にして、SD カードを抜き取り、プロテクトスイッチを OFF にしてから、再度正しく挿入してください。 （☛ P.13「プロテクトスイッチとは…」）

仕様

定格電圧	DC 12V/24V
消費電力	4W（平均消費電力）
外部入力電源端子定格電圧	DC 10 ～ 30V
カメラ素子	カラー CMOS
視野角※1	(レンズ)画角:対角160°（水平120°、垂直96°） 最大記録画角:対角135°（水平110°、垂直 88°）
記録解像度	30万画素
画像画質 画像サイズ	64K(640×480)、32K(640×480)、 16K(320×240)
画質	WDR（ワイドダイナミックレンジ）
最低被写体照度	1LUX（ルクス）
記録媒体	SDHC カード（8GB同梱）
記録形式	MJPEG
フレームレート	30,15,10,5,1 コマ／秒、2,1コマ／分、 12,6コマ／時
動作温度範囲	−10℃ ～ +60℃
外形寸法	41(W) × 40(H) × 106(D) mm（突起部除く）
重量	約155ｇ（SDカード含む）

※ 1：解像度により記録される視野角が変化します。
広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、®マークは明記していません。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
http://www.yupiteru.co.jp/

映像記録時間の目安

本機は、8 ～ 32GB の SD カードに対応しています。
同梱品の SD カード(8GB)の場合、以下のようになります。

※ 下記表は目安で、絶対保証値ではありません。被写体や周囲環境などの要因により、録画可能時間と件数は変化します。

※ 録画時間は、常時録画、イベント記録のすべての録画時間の合計です。お使いの状況により、録画可能時間は変化します。

※ 16GB の場合は 8GB の 2 倍、32GB の場合は 8GB の 4 倍の録画時間・イベント記録件数になります。

1. イベント記録の最大記録件数

★初期値

SD カード容量 8GB								
画質設定	イベント前	イベント後	合計	★30 コマ / 秒	15 コマ / 秒	10 コマ / 秒	5 コマ / 秒	1 コマ / 秒
64K	10 秒	10 秒	20 秒	200 件	400 件	600 件	1,200 件	6,000 件
32K				400 件	800 件	1,200 件	2,400 件	12,000 件
16K				800 件	1,600 件	2,400 件	4,800 件	24,000 件
64K	12 秒	8 秒	20 秒	200 件	400 件	600 件	1,200 件	6,000 件
32K				400 件	800 件	1,200 件	2,400 件	12,000 件
16K				800 件	1,600 件	2,400 件	4,800 件	24,000 件
32K	15 秒	5 秒	20 秒	400 件	800 件	1,200 件	2,400 件	12,000 件
16K				800 件	1,600 件	2,400 件	4,800 件	24,000 件
32K	18 秒	12 秒	30 秒	270 件	540 件	810 件	1,620 件	8,100 件
16K				540 件	1,080 件	1,620 件	3,240 件	16,200 件
32K	20 秒	10 秒	30 秒	270 件	540 件	810 件	1,620 件	8,100 件
16K				540 件	1,080 件	1,620 件	3,240 件	16,200 件
★32K	25 秒	5 秒	30 秒	270 件	540 件	810 件	1,620 件	8,100 件
16K				540 件	1,080 件	1,620 件	3,240 件	16,200 件

2. 録画時間の目安

※ 録画方法で [常時＋イベント] を選択した場合は、おおよそですが SD カード容量を常時 70%、イベント 30%で使用します。
(☛ P.16「常時録画＋イベント記録」)

★初期値

SD カード容量 8GB					
画質設定	30 コマ / 秒	15 コマ / 秒	★10 コマ / 秒	5 コマ / 秒	1 コマ / 秒
64K	1 時間	2 時間	3 時間	6 時間	30 時間
★32K	2 時間	4 時間	6 時間	12 時間	60 時間
16K	4 時間	8 時間	12 時間	24 時間	120 時間
画質設定	2 コマ / 分	1 コマ / 分	12 コマ / 時	6 コマ / 時	
64K	900 時間	1,800 時間	9,000 時間	18,000 時間	
32K	1,800 時間	3,600 時間	18,000 時間	36,000 時間	
16K	3,600 時間	7,200 時間	36,000 時間	72,000 時間	

アフターサービス

●保証書（裏表紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間　9：00～17：00　月曜日～金曜日
（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター（フリーコール） 0120-998-036

MEMO